

## 5 死 産

### (1) 死産数及び死産率

死産数は464胎で前年の462胎より2胎増加し、死産率（出産千対）は26.2で、前年の26.1を0.1上回った。

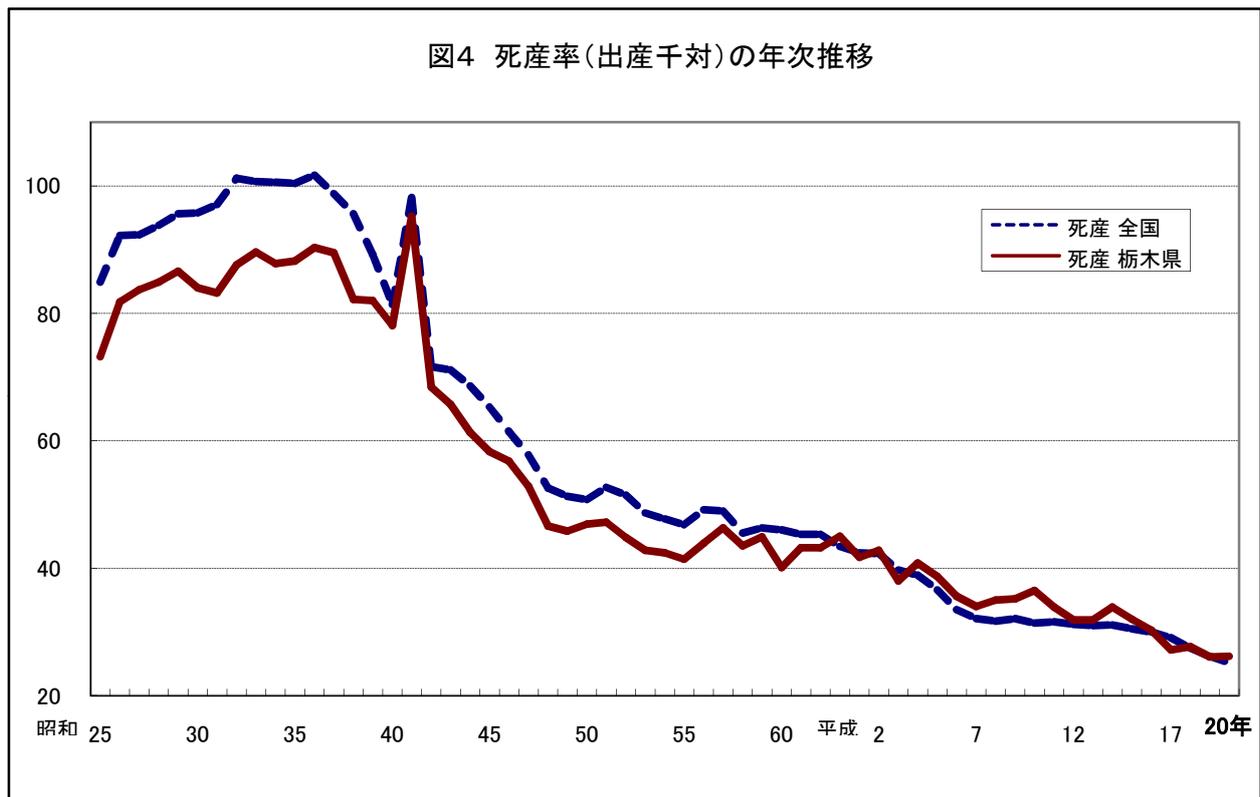
死産率を年次推移でみると、昭和41年の95.2をピークに減少を続け、本年は過去最低となった前年を上回った。

### (2) 都道府県別にみた死産率

都道府県別に死産率をみると、本県の26.2は全国で21位であり、全国の25.2より1.0上回った。

死産率の最も高い都道府県は沖縄県の34.3で、次いで北海道の33.2となっている。

また、最も低い都道府県は神奈川県の上21.0で、次いで山梨県の21.5となっている。



## 6 婚 姻

### (1) 婚姻数及び婚姻率

婚姻数は11,198組で前年の11,108組より90組増加し、婚姻率（人口千対）は5.7で、前年の5.6を0.1上回った。

婚姻率を年次推移でみると、昭和48年の9.8をピークに減少を続け、昭和62～平成元年に過去最低となる5.6が続きその後は微増したが、本年は過去最低となった前年を上回った。

### (2) 都道府県別にみた婚姻率

都道府県別に婚姻率をみると、本県の5.7は全国で12位であり、全国の5.8を0.1下回った。

婚姻率の最も高い都道府県は東京都の7.3で、次いで愛知県、沖縄県、神奈川県の上6.5となっている。

また、最も低い都道府県は秋田県の4.1で、次いで島根県の4.3となっている。